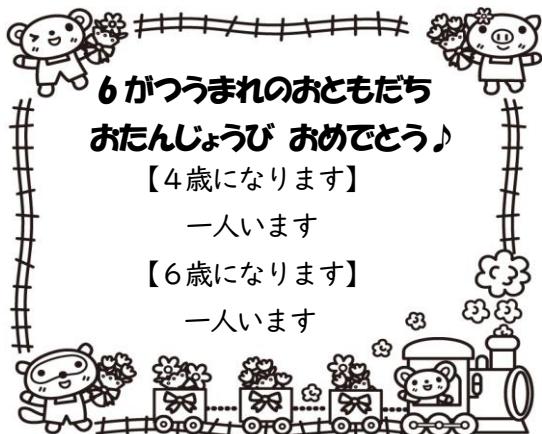




ここしばらく、急激な気温の変化で寒暖差が激しかったり、大雨が降ったりと体調をくずしやすい気候でしたが、子どもたちは元気に登園し、朝の用意をして好きな遊びを楽しむ姿が見られます。畠では、スナップエンドウやソラマメ、玉ねぎと収穫し、自然の恵みをいただきました。今年も親子栽培活動で、ナスやキュウリなど親子で生長を楽しみにしている様子にうれしく思います。幼稚園では自分たちで水やりをし、育てた野菜を収穫して食べる経験を大切にしています。先日も5歳児が収穫し、自分たちでむいたソラマメを園で塩ゆですると「おいしい～」と喜んで食べる姿がありました。野菜が苦手な子どもも自分で収穫したものは食べてみようとする姿につながります。ぜひ持ち帰った野菜を調理してご家族で食べてみてくださいね。

子どもたちはいろいろな生き物や虫に興味があり、園内や登園時に見つけたカタツムリやダンゴムシ、ヒョウモンチョウの幼虫などを園で飼育しています。特に『ダンゴムシ』が大好きで、「このこ、赤ちゃん」などと言いながら見せに来てくれます。プランターのそばで捕まえたり、探していたらそこにいることに気付いたり、それが興味をもって見つけることの楽しさを感じていました。担任が、いつでも子どもたちが触れることができるようになると大きなプラスチック製のたらいに子どもたちと土を入れ、ダンゴムシを飼っています。触れ、観察する中で、丸くなること、ゆっくりと動くこと、土の中にもぐっていくことなどいろいろなことに気付いています。直接体験から“不思議さ”や、“命そのものを感じる”経験をしています。まだまだ、自分が触りたい、捕まえることが楽しい子どもたちですが、触って遊んでいる中で、“かわいい”という気持ちが出てき始めています。教師が大切に関わる姿から、子どもたちも少しずつですが、大事にしようとする様子が伺えます。 身近な自然や生き物との出会いや関わりなど実体験を通して、いろいろな気付きを促し、子どもたち自身が感じていけるような活動を大切にしたいと思っています。

園長 石田 尚美



お知らせ

- ・降園時に、職員室前のお知らせボードを必ず確認してください。
- ・毎日ズボンのポケットにハンカチ、ティッシュを入れてきてください。

【育てたいこと】

<3歳児>

- ・自分の好きな遊びをしながら、友達とのやりとりや対話を楽しむ。
- ・いろいろな素材や用具に触れて楽しむ。
- ・身近な小動物を見たり、触れたりして親しみをもつ。

<5歳児>

- ・友達と思いを伝え合いながら遊び、試したり工夫したりする喜びを感じる。
- ・梅雨期の自然事象と身近な動植物の生長や変化に関心をもつ。

